

## トラブルでお困りの場合の対応策について

エアバイブレータは非常にシンプルな構造をしており、めったに壊れることはありません。間違いは一般的に、取付け方法の単純な不注意により起こる場合が殆どです。長期間使用している場合はまずFRLユニットを疑ってみてください。よくある質問に関しては下の表を参考にしてください。

トラブルの状態	疑うべき箇所	解決法
電源は入っているのにバイブレータが作動しない	エアーが来ていますか？ エアー圧力が低すぎませんか？	FRLユニットとコンプレッサの圧力をチェックし、5bar(0.5MPa)以上にセットしてください エアー供給バルブとコンプレッサの電源をONにしてください。
	電磁弁は正常に働いていますか？	バルブからバイブレータへの接続を一度抜いて、バルブから正常にエアーが噴出しているかを確認してください。
	バイブレータのエキゾーストプラグが付いたままになっていませんか？	エキゾーストのプラスチックプラグを取り除いてください。
	回転式バイブレータの場合エアー供給口と排気口を間違えて配管していませんか？	IN/OUTが間違っていないかチェックしてください。
	ピストン式バイブレータの場合使用する電磁弁に間違いはありませんか？	3方弁か4方弁を使ってください (2方弁はOFFの時の残圧が妨害してバイブレータが作動しないことがあります)
	ピストン式バイブレータでボール弁などのコックをゆっくり開いていませんか？	コックは一気に開いてください。
振動力が弱すぎる	同じサイズのチューブを多方向に分岐していっぱいにつないでいませんか？	分岐されたチューブの断面積の合計以上の太さのチューブをメイン配管に使ってください。 或いは、独立した配管をしてください。
	FRLユニットから電磁弁を経由してバイブレータまでのチューブ長さが長すぎませんか？	チューブ長さはトータル5m以内で、しかも電磁弁とバイブレータとのチューブ長さは1m以内にしてください。
	供給圧力が低すぎませんか？	最低作動可能圧力2bar(0.2MPa)以上でお使いください。
	バイブレータ内部に何か異物が入っていませんか？ サイレンサが目詰まりしていませんか？	バイブレータを分解してチェックしてください。 サイレンサを洗浄するか、あるいは供給圧を少し上げてみてください。
バイブレータうるさい	ネジが緩んでいませんか？	ネジを締めなおしてください。
	U字補強チャンネルの溶接は確実ですか？	溶接し直して下さい。
	バイブレータ自体の問題ではありませんか？	バイブレータを一度取り外して単独で動かしてみてください。 作動中何か不自然な動きが見られるなら修理に出してください。
電磁弁がうるさい	電磁弁の中に異物が入っていませんか？	電磁弁を交換してください。